

身近な話題などお知らせください！  
情報をお待ちしています

## 2643 柱の冥福を祈る

平成 25 年度柳川市戦没者追悼式

市民会館大ホールで 10 月 3 日、市戦没者追悼式がありました。戦後 68 年目の今年も、遺族など約 430 人が参列。金子市長は式辞で「わが国の平和と繁栄は、尊い犠牲の上に築かれていることを忘れてはならない」と述べました。市遺族会の野田健介会長は、戦没者の遺族を代表して「戦地でも家族のことを一番に考えられていたのでは。これからも恒久平和のため努力していく」と追悼の意を表しました。参列者は祭壇にキクの花をさげ、市の戦没者 2643 柱の冥福を祈りました。



参列者は祭壇の前で冥福を祈った

## 郷土愛あふれる檀一雄をしのぶ

第 27 回檀一雄文学顕彰祭

直木賞作家、檀一雄の功績をたたえる文学顕彰祭が 9 月 23 日、新外町の文学顕彰碑前で行われました。檀一雄の長男でエッセイストの檀太郎さんのあいさつや参加者による献花、献酒が行われた後、能古島で檀一雄をしのぶ「花逢忌の会」会長、織坂幸治さんが、檀一雄の福蔵寺での葬儀にまつわるエピソードを披露。また、檀一雄の作品の朗読や合唱などで、故人をしのびました。この日、同顕彰祭は檀一雄生誕百年記念誌「檀一雄の柳川」を発刊、披露しました。



文学碑の前で檀一雄の作品などを歌う合唱団「うぶすな」

## 柳川の歴史を歩いて堪能

健康・文化ウォーキング「城下町まち歩き」

市教育委員会とまちづくりネットワーク柳川は共催で、9 月 22 日に城下町の歴史や文化に触れる健康・文化ウォーキングを開きました。これは、袋町にある武家住宅「渡辺家住宅」の特別公開と合わせて開催。約 40 人の参加者は、武家住宅「十時邸」や県有形文化財の「旧戸島家住宅」、長命寺などを巡り、最後に渡辺家住宅に到着しました。渡辺家住宅で有明工業高等専門学校の松岡高弘教授が建物について解説。参加者は「武家住宅の雰囲気を感じることができた」と話しました。



渡辺家住宅で松岡教授の解説に耳を傾ける参加者

## お目当ての品はあったかな

市リサイクルマーケット

市クリーン連合会は市民体育館で 9 月 22 日、リサイクルマーケットを催しました。今年で 18 回目となったリサイクルマーケットは、日用品や雑貨など、家庭にある不用品を出品して、ごみの減量につなげようとするもの。多くの人々が、開場時間前から行列を作っていました。市内の個人や団体 52 店が出店した会場は、衣類や食器、おもちゃなど、たくさんの種類の品物が所狭しと並び、詰めかけた人たちが熱心に品定めをしていました。



並べられた品物を品定めする来場者

## 晴天の下で笑顔はじける

矢留小学校運動会

矢留小学校の運動会が 9 月 22 日、同校グラウンドで行われました。さわやかな秋晴れの青空の下、全校児童は赤、青、黄、緑色の 4 つのブロックに分かれて実施。児童たちは綱引きやリレー、騎馬戦などで順位を競いました。また、ソーラン節やマーチングバンド、組体操などでは、日ごろの練習の成果を発揮して、元気いっぱいに表現。そんな姿を収めようと、会場では、保護者たちが、カメラやビデオカメラを構えていました。



元気にソーラン節を踊る児童

## 俳句

ほおずきの提灯が揺れて地蔵盆

今月の入選作品・課題「地蔵盆」「花野」

応募総数 97 句

古賀治美 (南浜武)

- |  |   |
|--|---|
| 干拓碑かすかに浮かぶ花野かな<br>今にでも笑の出そふな地蔵盆<br>こゝからが花野山なみハイウエー<br>地蔵盆こどもも六人走り行く<br>地蔵盆老いも若きも集まれや<br>おしやれして子供ら集う地蔵盆<br>お接待の生姜煎餅地蔵盆<br>順礼の棒ばかり行く花野かな<br>路地裏に人待ち顔の地蔵盆<br>花野にて家族ぐるみの写真撮り<br>ぐずる児の無心に眠る花野かな<br>新品の腹掛着けて地蔵盆<br>赤牛の遠くにあそぶ花野かな<br>大師像とり巻くように花野かな<br>日陰りて花野たちまち孤独色<br>線香のけむりいたたく地蔵盆<br>晩年や花野で語り合ふことも<br>じぞさんにめつてくたはれ地蔵盆<br>富良野行き歩き歩けの花野かな | 田中位緒枝 (豊原)<br>松本操 (吉原)<br>古賀俊郎 (新外町)<br>池田美幸 (佃町)<br>武藤博文 (上宮永町)<br>山田美代子 (下宮永町)<br>谷祥子 (柳町)<br>森フチエ (弥四郎町)<br>大城靖子 (隅町)<br>田中眞智子 (西浜武)<br>原田アツ子 (栄)<br>高崎登美雄 (間)<br>境幸代 (西浜武)<br>中原由美 (新船津町)<br>甲木幸栄 (蟹町)<br>村田ミチ子 (蒲船津)<br>古賀幸子 (横山町)<br>浦哲之 (栄)<br>大橋弘茂 (百町) |
|--|---|

【句評】8月23、24日に行われる地蔵盆は、子どもたちが主役で取りしめることが多い。私も若いころは、先輩のお供としてよく吟行に出掛けたものです。垂見の地蔵盆は今も心に残っています。私にも、提灯の昼より灯り地蔵盆の句があります。今月の治美さんの句。巧みな叙法に地蔵盆の雰囲気をつづり読み取れる句になっています。

### ◆選者の句

大観峰花野駈けし人の渦

鬼郎

俳句を募集しています。選句者は大曲鬼郎さん。11月の課題は「石燈籠」「眼白」他です。入選作品は11月15日号に掲載します。  
●応募方法 俳句と明記し、自作、未発表の作品(※1人3句以内)に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係(☎77・8425、FAX 74・5520)へ、10月31日(※必着)までにお送りください。